

E-LEARNING便り from 四国



Index

学内鳥撮P1
2023年度 知プラe開講科目一覧P3
フォトギャラリー「スマホのカメラでナイスショット!」P6~7
編集後記P7

▲愛媛大学より画像提供(愛媛県鳥/コマドリ,城山にて)



香川大学幸町キャンパスで
最近撮影した野鳥を掲載します。
もちろん、ここに載っていない野鳥も
たくさんいます。
今回は、学内にて撮影に成功した野鳥の
ご紹介です。



シジュウカラ
白いほっぺたに黒いネクタイがポイント。スッピー、スッピーと鳴きます。



シロハラ
冬鳥。ツグミに似ていますが腹は白っぽい(ツグミは斑模様があります)。



ジョウビタキ(メス)
冬鳥。澄んだ声でヒッ、ヒッ、時にカッカッと低く鳴きます。オスは、お腹がオレンジ色です。

※参考画像
ジョウビタキ(オス)
愛媛大学より画像提供

スズメ
お馴染みの…人工的環境に適応した生物。歩く時は両足を揃えて跳ねます。



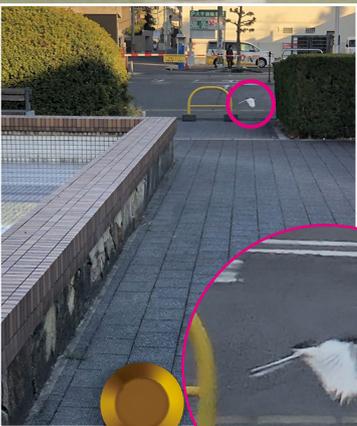
メジロ
 目の周りが白いからメジロです。花の蜜が好きで、桜の季節にも良く見かけます。



ツグミ
 小走りに移動しては立ち止まる。冬には口をつくんでいる、それでツグミと呼ばれるようになったといわれています。



ヒヨドリ
 ヒーヨ、ヒーヨという鳴き声。食欲旺盛なことでも有名です。学内で良く見かけます。



ハクセキレイ
 海岸など、いろんな所で見かけます。トコトコと、可愛い歩き方が印象的です。



キジバト
 ブドウ色の体に、ウロコ模様の背中、おしゃれな鳥です。繁った樹の中から、「デデッポポー デデッポポー」という声。



ドバト
 伝書鳩などが、野生化しているものをドバトと呼んでいます。「クー クー グルッ」などの声で鳴きます。



知プラ e 開講科目一覧

Opening course

前期16科目、後期44科目の
合計60科目を共同開講します。

NEW 新規開講科目は計3科目です。



前期

提供大学	科目名	担当教員	単位	概要
徳島大学	徳島で暮らす・徳島で働くを考える	金西 計英	1	徳島県内の第一線で活躍するリーダーや県内高等教育機関のOB・OGを講師に迎えて、経験の中から生まれた確信や考え方を語ってもらい、みなさんに自らのキャリア形成や地域社会との共生について、これからの持続可能世界を生きる意味について主体的に考えてもらう。
	社会科学における確率・統計入門	福井 昌則	1	社会科学を学ぶ際、社会科学の考え方を理解するだけでなく、どのように「科学的」に分析・評価するかを知ることが重要である。その方法として統計的手法について知識を身につけること、その基本的な分析ができることは、社会科学の学習、研究において非常に重要であり、他の学術分野においても必須となる。本授業では、①社会科学についての概要、②社会科学研究の基礎、③統計の重要性についての理解、④いくつかの統計的手法の活用、の4点を念頭に置いて進める。全体を通して、文系学部在籍する社会科学系の学生にも理解できる事例を用いる。本授業は、毎回オンデマンドで実施する。よって、R等の統計ソフトウェアを自身で準備し、そのソフトウェアで様々な検定を行うための操作方法を予習しておくことなどといった自学自習、授業時間外学習が重要となる。統計ソフトウェアについては個人の判断に委ねるが、授業ではRを用いる。
鳴門教育大学	デジタルものづくり入門	宮下 晃一	1	3Dプリンタを使うと、誰でも簡単にものづくりできる。3Dプリンタだけでなく、現在では様々な工作機械がコンピュータ制御されて自動加工を行っている。それらの機械に必要なものはデジタル化された設計図データ。設計データはインターネットを介して瞬時にどこにでも送信でき、ダウンロードでき、コピーでき、自分の必要な設計図に描きかえることが簡単にできる。つまり誰でも自分の発想するものを3Dプリンタで作ることができ、必要があれば世界中の工作機械を使って本格的に生産することもできる。このようなデジタルものづくりの世界を紹介するとともに、3D-CADを使った簡単な設計の演習を行う。
	NEW 学校とICT教育	竹口 幸志	1	児童生徒の情報行動の現状や学校におけるICT活用の状況について概観する。また、小学校、中学校、高等学校をはじめとした学校教育における情報教育の現状についても概説する。総じて、児童生徒のICT活用の現状を踏まえ、学校における情報教育とICT活用の今後の方向性について考える。
	NEW 絵本の研究	余郷 裕次 ほか	2	まず、主に絵本の絵について、我々が普段あまり意識しない部分、1. フロンタリティ(まるい大きな正面顔) 2. 画面構成 3. 色彩 4. 絵本モニターについて分析する。次に、絵本の読み聞かせにおける 1. 右脳・左脳の関わり 2. 育児語 motheries 3. スキンシップ 4. 視覚的共同注視について分析する。
香川大学	香川の文化と歴史	藤本 憲市	1	香川の地域特性のひとつとして、瀬戸内海とこれにまつわる生活環境や文化を挙げる事ができる。本科目では、瀬戸内海地域に焦点を絞り、歴史と生活・習俗について概観する。毎回、各分野・地域の専門家が文化と歴史にまつわるトピックについて講義をおこなう形式ですすめていく。
	四国の歴史と文化 その1 歴史編	守田 逸人 ほか	1	四国の歴史・文化について講義する。各回では、四国で活躍した人々の事績や、都と四国との結びつき、四国に残された遺跡・史跡など、四国の歴史に関わるテーマを取り上げる。
	四国の歴史と文化 その2 文化編	渡邊 史郎 ほか	1	四国の文化について講義する。各回では、四国に関わる文学作品などに関わるテーマを取り上げる。
	コンピュータと教育 その1	林 敏浩	1	近年、情報通信技術 (ICT) を活用した教育が様々な教育機関で実施されるようになってきた。また、予習・復習などの自宅等における学習者主体の学習にもICTの利用が増えてきている。本講義ではこのような情報通信技術 (ICT) を活用した教育・学習、それらを支える教育・学習システムについて講義する。なお、7,8回目は教育システム研究などの動向により予定と異なる内容になる場合がある。
	コンピュータと教育 その2	林 敏浩	1	近年、情報通信技術 (ICT) を活用した教育が様々な教育機関で実施されるようになってきた。また、予習・復習などの自宅等における学習者主体の学習にもICTの利用が増えてきている。本講義ではこのような情報通信技術 (ICT) を活用した教育・学習、それらを支える教育・学習システムについて講義する。
	人工魚礁の開発と環境保全	末永 慶寛	1	我が国沿岸海域における水産資源生産力の向上のための施設として、様々な人工魚礁が開発されてきた。本講義では、人工魚礁開発の歴史と人工魚礁の有すべき水産資源生産力向上および環境改善機能について、実海域における具体例を挙げながら解説する。
高知大学	気象学入門	佐々 浩司	2	気象に関わる様々な現象は大気の運動や状態変化に伴って発生する。地球上の大気の動きをシミュレーションや演示実験などにより説明するとともに、雨雲のできる様子、気象災害の起こる原因や、天気図の見方などについて解説する。
	アクティブラーニング入門	高畑 貴志	1	新しい小・中学校 (2019年度告示)、および、高等学校 (2020年度告示) の学習指導要領には、知識理解の質を高め資質・能力を育むため、主体的・対話的で深い学びというキーワードでアクティブラーニングが取られました。この授業では、いくつかのアクティブラーニングのパターンを教材化したものです。この教材を受講者がアクティブ(能動的)に学んでアクティブラーナーとなり、将来教員になって、あるいは就職した後教育係となって、子供の親となって、アクティブラーニングの実践ができるようになることを目指しています。
	海洋地球科学概論	村山 雅史	2	太陽系惑星で唯一存在する海洋の成り立ちと役割について学び、地球規模での様々な物質循環や気候変動について理解する。
	インターンシップ入門	森田 佐知子	1	本授業は、インターンシップに関する基礎知識を集約的に学ぶものである。講義では、インターンシップの種類やインターンシップに行く意義と合わせて、実習先の探し方や応募方法などの実践的なことも学ぶ。またインターンシップを活用してより深くその業界や仕事のことを学ぶための理論や、インターンシップにおける経験を自らのキャリア形成に活かすための方法についても学ぶ。各講義では、各人の考えや意見を受講生同士で共有し、フィードバックを得る機会を随時提供することで、多様な視点からインターンシップと将来のキャリアについて考察する力を醸成することを旨とする。
	NEW マンガと社会	岩崎 保道	2	近年、マンガは文化や産業の振興に一定の役割を果たすなど、社会的に影響を持つようになり、海外にもマンガ文化が発信され注目されています。このような背景の下、マンガに関わる政策的な取り組みや、マンガを地域の活性化に活用するなど、多種多様な活動が盛んに行われています。一方、マンガに関わる教育研究が深化しており、学術研究の分野を築いています。本授業は、このような身近な存在であるマンガの歴史的な発展をはじめ、文化・産業面での動向や地域振興への活用状況などを解説します。また、高知県が多くのマンガ家を輩出してきたことや、マンガに関わる取り組みの先進県であることを踏まえ、四国4県のマンガ事情を紹介します。以上の趣旨により、具体的なテーマとして「マンガの歴史」「マンガを活用した地域振興」「マンガに関わる学術研究」「マンガ産業の動向」「高知県、愛媛県、香川県、徳島県に関わるマンガ家」などを取り上げます。

後期

提供大学	科目名	担当教員	単位	概要
徳島大学	知の探訪	金西 計英	2	大学における学習について、主体的に学習を進める態度を身につける。大学における「研究する」ということに関し、自らの言葉で説明できるようになることを目指す。
	モラエスの徳島 ～グローバリズムと異邦人～	金西 計英	2	ヴェンセスラウ・デ・モラエスの生涯とその作品を眺め、ゆかりの場所を紹介しながら、理解を深め、同時に異文化理解というものを考える。
	日本におけるドイツ兵捕虜 1914-1920 一四国の収容所を中心に	井戸 慶治	2	第一次世界大戦における日本の青島攻略により、ドイツ兵などの捕虜約5000人が日本各地に抑留された。とりわけ徳島県にあった板東俘虜収容所では、捕虜たちの文化上・経済上の諸活動や地元住民との交流がさかんにおこなわれ、彼らによってベートーヴェンの第九交響曲全曲が日本ではじめて演奏された。この講義では、当時の日本各地の収容所一帯に四国の収容所における捕虜の活動や日本側の対応などについて、最近発見された資料なども用いてさまざまな事実を紹介する。また、これについて、日独交流史や捕虜待遇の歴史というより広いコンテキストの中で、多面的な考察の視点を提供したい。そのため、時として担当教員以外の先生や関係者にも講義やインタビューによるお話をさせていただいたり、関連の場所を訪れたりする。
	現代科学と研究倫理	金西 計英	2	本授業では、現代社会における科学技術に目を向けることから始める。現在の生活は、科学技術の成果によって成り立つことから、研究とは何かについて考える。現代の研究は、多岐にわたることから、多様な研究分野に触れ、いろいろな研究フィールドに内在する倫理上の問題を、具体的な事例に基づき考える。また、企業との関わりについても触れる。
	大学の知の活用	井内 健介	2	本講義では、大学の知の活用に必要な基礎知識を紹介した上で、四国地域における具体的な大学の知の活用に関する取り組みを紹介する。
	大学教育を考える	吉田 博	2	大学教育に関する14のトピックについて、関連する知識を得るとともに、各トピックに関連する問題点を考えることが本授業の目的です。
	数理科学の世界	金西 計英	2	講義は一回ごとにテーマを決めて、原則一回完結になります。内容としては、数学の歴史、古代から近代文明に見ることの出来る数学の様相（西洋だけでなく江戸時代や中国の数学を含む）、美術で使われる数学理論、数学を取り扱った文学、音楽理論に現れる数学の理論、数学者の人間像（古代から現代まで）、占星術で使われる数学などで、レベル的には高校数学の内容で充分理解できるものです。
	文化心理学入門	金西 計英	1	心理学のなかでも、ヒトの心と道具、社会、歴史との関連に着目する「文化心理学」あるいは「社会・文化・歴史的アプローチ」と呼ばれる理論群について、具体的な研究事例を挙げながら講義する。また、文化心理学の観点から、教育実践や学習支援・発達支援実践における指導者・支援者の役割について考察する。
	徳島を考える	豊田 哲也	1	徳島県の自然環境や歴史、文化、産業に関するテーマを様々な側面から取り上げて講義する。具体的には、吉野川の地形環境、藍産業の歴史、特産地の形成などの一端を紹介する。
鳴門教育大学	自動車概論	宮下 晃一	1	自動車社会の一員として責任をもって自動車と関わっていく上で知っておくべき自動車の社会的な役割と弊害、構造と技術、日常点検と整備の方法、万一の事故対応や保険制度について、幅広く解説する。
	子どもと学校	竹口 幸志	2	時代とともに子どもを取り巻く社会環境は変化してきました。本講義では、子どもの遊び、子ども同士のかかわり、子どもと親のかかわり、子どもと教師のかかわり、子どもと学校のかかわり、地域のかかわりなどを取り上げ、これからの教育と教育へのかかわり方について考えます。
	情報社会のくらし	竹口 幸志	2	本講義では、情報政策、情報経済、情報と法、情報教育、情報と倫理の観点から情報社会のくらしについて考察します。日々刻々と変化する社会において、情報技術が及ぼす影響やこれからの情報との付き合い方について考えてみましょう。
香川大学	情報のいろは	林 敏浩 ほか	2	情報は我々の生活を考える上で必ず出てくるキーワードである。我々が扱っている情報とはどのようなものなのか、本講義では情報を様々な視点から俯瞰してその特徴について講義する。
	地域コンテンツと知財管理 その1	林 敏浩 ほか	1	地域コンテンツを紹介しながら、知的財産管理の基礎的知識について講義する。各回では発明やブランドの保護といった知財管理の基礎的な事項についてとりあげる。
	地域コンテンツと知財管理 その2	林 敏浩 ほか	1	地域コンテンツを紹介しながら、知的財産管理の基礎的知識について講義する。各回ではインターネット時代におけるコンテンツやデザインの保護といった知財管理の基礎的な事項についてとりあげる。
	香川を学ぶ	藤本 恵市 ほか	1	香川県に関することを多視的な側面から取り上げて講義する。具体的には、四国遍路、栗林公園、伝統食、離島、及び水問題の一端を紹介する。
	四国の自然環境と防災 その1	寺尾 徹 ほか	1	四国に学び生活しているが、本当に四国のことを知っていると言えるだろうか。何気なく見逃している四国の自然のすがたを科学することで見てくる、驚くような自然環境の仕組みを探る旅に出よう。地形が物語る壮大な四国形成史のドラマ。豪雨地帯と乾燥地帯の同居する島に生きる人々の水資源を求め知恵のかずかず。瀬戸内の自然環境の魅力と里海再生のとくみ。21世紀の四国を展望するための視点の数々を提供する講義群である。
	四国の自然環境と防災 その2	寺尾 徹 ほか	1	四国に学び生活しているが、本当に四国のことを知っていると言えるだろうか。何気なく見逃している四国の自然のすがたを科学することで見てくる、驚くような自然環境の仕組みを探る旅に出よう。地球最大級のプレート境界型地震・東南海・南海地震の危険が迫る太平洋岸。それとたたかおうと立ち上がる地域の力。自然の営みと人間の関わり方の新たな模索。21世紀の四国を展望するための視点の数々を提供する講義群である。
	四国の地域振興 その1	林 敏浩 ほか	1	四国における地域振興の取組みを以下の側面から講義します。第1は、産業です。各県の代表的な地場産業が地域の中で果たしている役割や活性化策について考えます。第2は、交流や文化振興による地域づくりです。瀬戸内国際芸術祭などが事例に取り上げられます。第3は、地方制度です。近年の地方分権改革との関わりで各県の将来像を考えます。これらを通して私たちが居住する四国という地域社会への理解と関心を培い、地域活性化への道を探るという観点で授業を実施します。
	四国の地域振興 その2	林 敏浩 ほか	1	四国における地域振興の取組みを以下の側面から講義します。第1は、産業です。各県の代表的な地場産業が地域の中で果たしている役割や活性化策について考えます。第2は、交流や文化振興による地域づくりです。瀬戸内国際芸術祭などが事例に取り上げられます。第3は、地方制度です。近年の地方分権改革との関わりで各県の将来像を考えます。これらを通して私たちが居住する四国という地域社会への理解と関心を培い、地域活性化への道を探るという観点で授業を実施します。
	高度情報化社会の歩き方	後藤田 中 ほか	1	高度情報化に伴い、我々の身の回りの社会環境は、益々創造的で豊かになっている。AIやIoTといったテクノロジーが進化し、我々の生活に溶け込み、“便利な”サービスの根幹をなし始めている。一方で我々の生活が豊かになる反面、見落としがちな諸問題も生まれ始めている。この授業では、高度情報化社会に伴う我々の社会環境における現在、そして今後の予測に対し、光と影、それぞれの一端を紹介し、人と情報がどのように接すれば、より豊かな生活を実現できるか学ぶ。
データ活用と オープンイノベーションで創る 未来のまちづくり	米谷 雄介	1	スマートシティは新たなまちづくりのモデルである。従来のインフラ中心からICT・IoTに基づくデータ活用中心、言い換えるとハードウェア/サプライヤ中心からソフトウェア/ユーザー中心のまちづくりへの転換である。この新たなまちづくりのモデルの特徴は、異業種・異分野の協働を基本（分野横断型）とし、社会課題の解決を中心に据え（課題解決型）、サービスの利用実績によりサービスは進化していく（進化した型）として、自分たちの使う公共サービスは自分たちで創るというDIY思想（市民中心設計）となっている。近年様々な基礎自治体においてスマートシティに向けた動きがあるが、スマートシティの推進を担う人材の育成が課題となっている。そこで、本授業は、スマートシティの推進に必要な素養の獲得を支援する。受講者は、データ活用技術やオープンイノベーションの考え方を知り、活用することを経験する。香川におけるケーススタディを通じて自分たちの地域のあり方を再見し、地域の課題解決に資するデータ活用サービスを考案する態度を獲得する。	

提供大学	科目名	担当教員	単位	概要
香川大学	データサイエンスを活用した防災・危機管理	野々村 敦子	1	日本は地震や台風など大きな自然災害による被害を受けている。環境変化により従来になく大規模自然災害が発生する可能性が高まり、さらには社会システムの高高度・複雑化・国際化ともない、これまでにない災害が発生する危険性も増大している。いま、自然・人為的な災害に対応可能なレジリエント(しなやか)な社会の構築が求められている。本講義では、自然災害の軽減を念頭にデータサイエンスによる防災・危機管理のあり方と、地域における災害に対する安全・安心について担当教員がそれぞれの専門分野から説明する。
	レジリエントな社会の構築とコンピューターシミュレーション	吉田 秀典	1	コンピューターシミュレーションは、「第3の科学」とも言われ、自然科学、工学、経済学、社会科学における理論・システムを数値モデルで表現し、コンピューターを用いて仮想実験や事象予測を行う技術である。今では、製造業における工業製品の設計や新規材料の開発、自然現象の解明による災害対策、社会・インフラ整備のための構造設計・安全評価、金融・ビジネスにおけるマーケティングなど多様な分野において欠かすことができない。とりわけ、ビッグデータとAIなどの数理技術との融合により、製品の設計・製造プロセスの最適化、公共インフラの維持と保安水準の向上、津波・地震等の災害予測精度の向上、安価かつ環境性の高い電力・エネルギー製造と供給、テラメイト医療・予防サービス普及による医療費削減など、幅広い分野において新しい価値を創造することが期待されている。本講義では、レジリエントな(強韧化)社会構築におけるコンピューターシミュレーション活用事例を挙げ、その重要性について担当教員がそれぞれの専門分野の立場から説明する。
	災害とデータサイエンス	石塚 正秀	1	防災に活用できる科学的なデータとしては、災害に関するデータと、それを観測するテクノロジーについて、災害前(災害が起こっていない日常の時点と、災害が起こる直前)と災害後(直後、そしてライフライン復旧が求められる事後)という2つのステージでの議論が重要である。「災害前」としては、例えば、気象データなどは、雨量や温度、湿度、気圧などのデータが各地の気象観測所で集められ、また人工衛星から、可視光線、赤外線、電波などのセンサーを使って地表や地中を観測しデータが収集されている。このようにローカルからワールドワイドにいたる様々なデータを活用し、各種の災害情報を作成され、防災や減災に役立てられる。「災害後」としては、被災地に近い定点観測地点や衛星からのデータ、そして現場周辺でユーザーが発信しているデータなどが避難等に重要である。また、オープンデータの活用によって、国や自治体等と住民が連携しながら二次災害の減災に寄与することもできる。本講義では、こうした「災害」に係るデータの活用方法について担当教員がそれぞれの専門分野から説明する。
	タンパク質で生命を斬る	澤崎 達也	2	一般的にタンパク質というと、食物等に含まれるものが知られており、人の健康を維持するために摂取していく栄養素という印象を持つでしょう。実は、タンパク質にはそれ以外にも、大きな人の生命の維持という重要な役割も担っており、このタンパク質の役割を理解すると、これまでは単なる「なぜ」であったものが、より理論的に説明できることにつながります。本科目は愛媛大学プロテオミクスセンターに所属する教員が提供する科目であり、最先端のタンパク質に関する研究に触れながら、タンパク質の力と魅力について伝えていきます。タンパク質をより身近に感じ、科学の魅力への入り口でもあります。みなさんと議論を展開できることを期待しています。
	ユーラシア大陸における人と金属生産の関わり	村上 恭通	1	今から約10000年前、西アジアにおいて自然銅が利用されるようになり、人は金属の価値に触れることとなりました。その後、鉱石を製錬して銅を得るまでに数千年、さらに鉄を製錬するまでに数千年と、長い時間をかけて古代人は金属を生活の中に取り入れるようになりました。その過程で金属の技術、価値は大きく変わっていきます。また西アジアからユーラシア草原地帯を経由して北アジアやわれわれが生活する東アジアに金属が到達するまで、その技術や価値はまた大きく変わりました。金属の技術や利用法は地域の文化や環境に応じて多様に展開したのです。発掘によって地中から現れたものを対象としながら、金属の技術や利用のあり方を通じて、ユーラシア大陸のダイナミックな歴史をみなさんと味わうことができます。
大学生のための『安全・安心』の基礎講座	伊藤 和貴	2	安心とはどういう状態であろうか。少し深く考えると安心できる要素は人によって異なることが判る。この講義では、全ての人が安心して暮らせるために、その根本となる安全と健康について、個人としてできることや組織として管理する時の注意などについて、全15回を通して基礎的な知識を習得することを目標とする。	
太陽光利用型植物工場における知能的農作物生産	藤内 直道	1	太陽光植物工場は、太陽光エネルギーを最大限に活用して大規模な農作物生産を行う施設であり、気温・湿度・CO2・光強度など様々な環境要因を制御することで4定(定時・定量・定品質・定価格)の農作物生産を実現します。本講義では、太陽光植物工場における知能的農作物生産を支えるスピンオフ・プラント・アプローチ技術(植物診断に基づいた環境制御)をはじめ、環境制御の基礎となる気温・湿度および暖房、植物の最も重要な環境応答である光合成と蒸散について学びます。	
飛行機はなぜ飛ぶのか	岩本 幸治	1	まず、世界と日本で飛行機がどのように生まれたかを説明して先人の想像力や洞察力、工夫を見習う。その後、揚力や抗力といった飛行機にかかる力がどのように発生するのかを学び、有人飛行では不可欠な安定性について考える。これらの知識を取り入れて、紙飛行機を作って飛ばしてみようことを計画している。	
愛媛大学	昆虫と環境	小西 和彦	1	昆虫は地上のありとあらゆる環境に進出し繁栄しているグループで、身近に目にするものも多いと思います。昆虫類はこれまでに知られている種だけでも約10万種いて、実際には50万種はいるだろうと考えられているくらい種数が多く、全動物の種数のうち80%以上を占めるといわれています。本科目では、このように多様な昆虫についてその特徴を理解し、どうして多様性が増大し得たのかを考えます。そして、その多様性が現在の日本でどのような状態にあるのかを知り、私たちの周りの自然や環境について考えるきっかけとします。
	アカデミック・プレゼンテーション(PowerPoint編)	仲道 雅輝	1	「伝わるプレゼンテーション」をすることで、分かりやすくて効果的な研究発表を行うことができるようになることを目指します。本授業では、プレゼンテーションソフトMicrosoft Office PowerPointを用いて、「伝わるプレゼンテーション」を行うために、スライド修正の実践演習を交えながら必要な技術を修得します。
	インドネシアの文化と会話	島上 宗子	1	世界最大の島嶼国家であり、多様な民族からなるインドネシアは、日本とも歴史的・経済的に深いつながりをもっている。インドネシア語の初歩的な会話と基本文法を、インドネシアの習慣や文化を交えながら学ぶことで、インドネシアの言語と文化に対する理解を深める。
	私たちの生活と材料	小林 千悟	1	私たちの生活の中で利用されている様々な機能を持った材料について紹介します。それら材料の開発の経緯や要求される特性をいかに引き出すかなどについて説明します。また、資源・環境・エネルギーの点で循環型社会を構築するために不可欠な機能材料についても解説します。何気なく使っている製品にも様々な機能を持った材料が活用されていることを知ってもらいたいです。
	身の回りの放射線	岡野 聡	1	現在われわれの身の回りには産業機器、エネルギー、安全管理、医療・福祉などの分野で放射線を利用した様々な技術が使われています。しかしながら、われわれは放射線について、どのくらい理解しているのでしょうか。放射線とはいったい何。なぜ危険なのか。安全に利用する手法はあるのか?など、科学としてきちんと理解している人は少ないのではないのでしょうか。身の回りから放射線について基本的な性質と安全に利用するための方法を学びます。
	和算の世界	河村 泰之	1	和算とは西洋の数学が入ってくるまでの日本の数学、特に江戸時代に普及・発展した日本の数学のことをいいます。当時は、和算を楽しむ人が数学の問題を算額とよばれる絵馬にして神社・仏閣に奉納する習慣がありました。愛媛県にも多数の算額が残されています。この授業では和算に関して、その歴史、計算の道具、図形公式、算額に記された図形問題などを学びます。
	研究倫理	裏 和宏	1	卒業論文作成や将来研究者・科学者になる人だけでなく、科学技術を利用して生活する私たちが持っている限りならぬ倫理観とは何かについて考えよう。我々の生活は、科学技術の成果の上になり立っており、科学技術が社会に及ぼす影響は計り知れないほど大きい。科学技術の健全な発展のために必要と心得ているように触れる。
	インタフェースデザイン概論	三好 康夫	1	本授業では、ヒューマンインタフェースの概念や人間の特性、情報システムの使いやすさ等について概説し、主にソフトウェアのユーザインタフェース設計手法について言及する。情報システム等の使いやすさの論理的な評価方法や、使いやすさを意識したGUI設計の考え方を学ぶ。
	キャリアで活かすITリテラシー	高畑 貴志	1	ITパスポートの教科書に沿って、以下の要領でITパスポートで求められる知識を順に身に付けていきます。 ・まず教科書で、ITパスポートに必要とされる知識を学習してください。 ・重要なポイントを説明文に起こしてみよう。説明文のうち、具体的に重要な事柄を5〜10個選んでレポートとして提出してもらいます。 ・その上で、オンラインで公開されているITパスポートの過去問に取り組むことで、学習した内容を確認してください。 ・2回の中間試験をコース上で受験してください。期末試験をコース上で受験してください。
	業務効率化のためのIT活用入門	高畑 貴志	1	日々の業務における「ひとつひとつであれば簡単に終わる単純な処理」が大量かつ頻繁に発生する状況を想定し、IT技術を用いた半自動化により業務を効率よく処理する技法を身に付けます。このような処理の具体的な例を挙げます(授業で学べば、短い時間でできるようになります)。複数の名簿/リストを統合し、重複をなくして整理する。多数選択単一回答式のアンケートを、問題数に関係なく一定の時間で集計する。複数のグラフに、同一の複雑な書式を、各グラフにつき一挙手一足で適用する。名簿から、特定の条件に該当する人だけを一斉に送信し、メールを一斉に送る。対応表をもとに、複数のファイルの名前を一括して変更する。表形式のデータから、特定の条件に該当するものを抽出する。表形式のデータを、属性の値ごとに集計する。手軽に活用できるよう、Microsoft Excelを中心に「プログラミング」まで踏み込まない範囲の技法を扱います。また、大学が所在する地域に関する統計データを扱うことで、地元・地域に対する理解を深めます。
NPOと大学の経営	岩崎 保道	2	当授業は、NPO(非営利組織)の社会的役割及び存在意義を学ぶとともに、学校法人、医療法人、社会福祉法人、NPO法人など各分野の概要や取り組み(経営環境、特徴)について四国の状況を含めて解説します。また、NPOの一つである大学の基本的機能(教育研究、社会貢献)及び社会的使命を学ぶとともに、大学がどのような仕組みのもとで事業を展開しているの明らかにして大学の事業活動を支える。経営管理や組織、財務などの業務内容を解説します。 以上を踏まえて、各テーマ(NPO(非営利組織)の社会的役割/NPO(非営利組織)の各分野における経営環境や社会的役割、特徴/「フィナンソビリティとソーシャルアントレプレナー」/大学の基本的機能/「大学と地域の連携」/「人的資源の能力開発」/「大学発ベンチャー」)を取り上げます。 授業方法は動画の視聴を基本として、教科書を使用しながら説明します。	
ピア・サポート理論と実践	杉田 郁代	2	人を支えるピア・サポート理論とその活動を実際に行うためのプロジェクトマネジメントについて学びます。ピア・サポート理論は、教育心理学や臨床心理学、健康心理学等の知見を複合しています。その基礎知識を獲得するとともに、ピア・サポート活動に必要なコミュニケーショントレーニングについても授業の中の体験を通して学びを深めていきます。授業の中では、学生の皆さんの発言や行動が、学ぶ仲間(ピア)を助ける道具になります。よって、授業への積極的な参加を望みます。最終的には、大学生活において、ピア・サポート活動を実践できるように授業を設計しています。	
キャリアプランニング	森田 佐知子	1	本授業は、キャリアプランニングの基礎知識を集約的に学ぶものである。講義では、キャリアプランニングの基礎となる理論と合わせて、自己分析や、進路に関する選択肢の増やし方、職業研究の方法等を説明する。また、キャリア形成に関する自分の意見や自己分析・業界研究の結果、キャリアビジョンなどを受講生同士で共有し、フィードバックを得る機会を随時提供する事で、多様な視点からキャリアプランを見直す力を醸成することを目指す。	
消費生活入門	小島 郷子	1	新しい経済社会の消費者像や消費者としての役割を理解するとともに、消費者としてSDGsの目標を達成し、持続可能な社会を形成するためにできることについて考える。	

スマホのカメラでナイスショット！

進化し続けるスマホのカメラ機能。フォーカスロック、望遠、広角、露出補正等、
いろんな機能を駆使して、映える写真をゲットしましょう。

●…高知大学 } より画像提供
●…愛媛大学 } いただきました。
●…香川大学 }



●高知大学キャンパス



●宮崎県 馬ヶ背 突端



●愛媛県 浄瑠璃寺



●香川県 まんのう公園(コキア)



●愛媛県 石手川緑地



●鹿児島県 雄川の滝



●鹿児島県 指宿(朝日)



●松山空港から中部国際空港行きの飛行機内(夕日)



●熊本県 銅ヶ滝



●しまなみ海道(亀老山展望公園より)



●スイカの収穫



●伊予柑ソフト(ミレー付)



●夕焼け(香東川より)



●夕日(佐田岬灯台より)



●高知県はりまや橋

●椎茸栽培



●円座橋

編集後記

大学連携 e-Learning 教育支援センター四国 藤本 憲市

新型コロナウイルスの初確認からはや3年が経過しました。本邦では、3月13日以降、マスク着用／非着用が個人の主体的な判断に委ねられることとなります。マスクなしで授業を受けられる日も近そうですね。

さて2023年度は、前期16科目と後期44科目の合計60の知プラe科目を開講します。新規に提供される3科目を含めいずれも興味深い科目ばかりですので、多くの学生さんに履修してもらえることを期待しています。

今号は、大学構内を訪れてくれた野鳥の特集です。普段気にしていなかったのですが、特集して改めて眺めてみると結構多くの野鳥が構内にやってくることに驚いています。

あっそうそう、みなさん知っていますか？JR西日本の500系新幹線の設計に鳥が参考にされていることを。新幹線が走行するときの騒音を軽減するためには、車両の空気抵抗を減らす必要があります。鳥好きの新幹線開発者は、車両の屋根上に設置されたパンタグラフ（集電装置）の設計にフクロウの独特な鋸歯状の風切り羽根を、先頭車両の先端形状の設計にカワセミのくちばしの形をそれぞれ参考にして騒音問題を解決したそうですよ。読者のみなさんも、一見無関係と思われることや普段気にしていないことにも目を向けてみてください。未解決問題に対するSerendipity（偶然に大発見する幸運）と出会うかもしれませんよ。

e-Learning便り from四国 第6号

2023年3月13日 発行

発行・制作 大学連携e-Learning教育支援センター四国

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

TEL:087-832-1365

E-mail: chipla_el_info-c@kagawa-u.ac.jp



徳島大学



鳴門教育大学



香川大学



愛媛大学



高知大学

知プラe

検索

知プラeウェブサイト



<https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/>